

地区	現況・課題	今後の方向性・要望
大宮町2丁目	<ul style="list-style-type: none"> ○9月30日に防災訓練を行った。 ○第1次避難所を20箇所設けている。各避難所に、女性のリーダーを置いている。 ○750～760名のうち424名の参加があった。年々増えてきている。 ○起震車とAEDを新たにやった。スモークハウスも予定していたが、先約がありできなかった。 ○起震車を体験したのは68名。100名の予定だったが、怖がってやらない人もいた。 ○AEDは45名が公民館で講習を受けた。 ○1次避難所に要援護者が48名いる。実際参加したのは数名だった。実際震災があったとき、どう対応すればよいかわからない。 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ○ここの老人会は、子供会と同じぐらい自治会に協力している。(老人クラブ) ○よく自治会長から話があるため、毎月の集まりで会員にすべて報告している。(老人クラブ) ○会員には、地域行事に参加して顔を覚えてもらうように働きかけている。その結果、子供たちともつながりができて徐々に挨拶を交わす関係になっている。(老人クラブ) 	<ul style="list-style-type: none"> ○係が分かるように腕章などを作ってほしいという声があった。来年は購入したい。 ○今年予算がなくて無理だったが、来年は『黄色いハンカチ』を購入したい。
日の出町	<ul style="list-style-type: none"> ○6月に町内会の防災研修で、バス1台で50名が県の防災センターへ行った。バスの中で交流できたのがよかった。 ○11月11日に防災訓練を行った。 ○10数年ぶりに炊き出し訓練を行った。薪と釜でご飯を炊いたことのある高齢のご婦人方が、若い主婦に指導した。 ○救護訓練を行った。事前に役員が講習を受けて、当日参加者に指導した。 ○今年の訓練は自分達で指導できたという点で、少し進歩したのではないか。 ○自治会員の家族調査をやっている。自治会の家族名簿がないので、それを作る名目で、災害時要援護者の該当者以外で要望があるか調査している。 ○要援護者の手助けをできる人がどの程度いるか、平日昼間の在宅者調査も行っている。 	

	<p>○名簿は個人情報の保護という観点で問題もあったが、基準をゆるくして合意を得た。</p> <p>○情報交換が大事である。</p> <p>○日の出町は参加者が130人弱だった。そのうち、小中高校生の参加が10人強程度だった。</p> <p>○水消火器の訓練では、小学生はやったが、中学生以上になるとやりたがらなかった。ゲーム形式でやったらもっと参加してもらえたかもしれない。</p>	
		○東小の PTA 会長の話を聞いて、訓練を子供目線で考えてもよかったかもしれないと思った。
東本町1丁目	<p>○11月18日に防災訓練を行う予定である。東小学校を借りる。</p> <p>○担架、消火器、バケツリレー訓練を行う。</p> <p>○起震車を使おうと思ったが、人気があって予約できなかった。</p>	
		<p>○使えるようにルールを作ったらどうか。</p> <p>●起震車の使用は年が始まる前の3月までに県に申請しておく必要がある。東部に1台しかない。早めに危機管理課に申し込みをしてほしい。(市長)</p>
	○日頃から集まる機会を作ろうということで、年に6回、関係者で集まっている。防災倉庫や消火器の点検などを行っている。	
東町	<p>○10月28日に防災訓練を行った。</p> <p>○4月から自治会長になり、3月に起震車の申し込みに行ったら、抽選は2月にあると言われた。来年の分を申し込みしてきた。</p> <p>○初期消火の訓練、簡易担架の作り方、三角巾の使い方をやった。</p> <p>○防災倉庫の見学をした。町内のものと校区のものを見せた。</p> <p>○避難所となる体育館の非常用物資を見せた。</p>	
	○中学生は部活でほとんど参加していない。(老人クラブ)	
大社町	<p>○11月11日に訓練を行った。</p> <p>○可搬ポンプ、月に1回使えるかどうか点検をしている。</p> <p>○以前は1次避難所から2次避難所に移動して訓練を行っていたが、各町内会が2次避難所に集まって、一体どれくらいのことができるか疑問に思った。</p> <p>○町内7区それぞれで集まって防災訓練を行った。</p>	

	<ul style="list-style-type: none"> ○炊き出し、担架搬送の訓練、災害弱者の確認を行った。 ○高齢者など訓練に参加できない人のところに訓練中に防災委員が訪問して声かけを行った。その際に、町内会で用意した水を1本ずつ置いてきた。 ○初期消火が大事なので、訓練時には必ず水消火器を20本用意している。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ○なるべく子供も参加するよう事前に声をかけたので、前回より参加人数が多かった。 ○小さい子供のいる親は参加しない人が多い。災害のときに小さい子供を持つ親が実際に必要なものがわからない人が多いのではないか。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ○学校外での災害時、親がどうしたらよいかということを訓練できない状態である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校外の対応を考える必要がある。 ○火災、家の倒壊に充分注意しておかなくてはならない。 ○『自助・共助・公助』を日頃から気をつけたい。 ○防災というよりも減災である。起きてしまったことにいかに対応できるかということを考えている。
南二日町	<ul style="list-style-type: none"> ○9月に防災訓練を行った。 ○参加者を集めるために起震車を使った。 ○消火訓練、AED、発電機の訓練を行った。 ○実際災害が起こったとき、町内にいるのは主婦が多いだろうということで、主婦を中心に発電機の訓練を行った。 ○参加者60名だったので、各班4つに分けて、全員が体験できるようにした。 ○世帯確認の名簿を作成した。自治会加入者はほぼ100%提出してもらっている。毎年4月に更新する予定である。 ○消火器の設置場所の確認を行った。組長さんに確認して報告してもらった。 ○いかに多くの人に参加してもらうかが課題である。 ○少しずつではあるが、進歩している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自治会ウォーキングに参加した女性で防災訓練に大変関心を持っている人がいたので、企画部に入ってもらった。来年はいろいろアドバイスをもらう予定である。

東本町2丁目	<ul style="list-style-type: none"> ○9月の第2日曜日に防災訓練を行っている。 ○奇数月の第2日曜日に防災倉庫の点検を行っている。 ○防災会長と自治会長は兼任しているが、その他の役員は入れ替えがあり、新しくなったので苦労した。 ○東小学校に集まり、各組長に地図を渡して、各組ごとに自主的に避難路を書いて集まってもらうという訓練を行った。その際にどこに問題点があるか書いてもらう。集まるのに30分くらいかかった。300人程度の参加があった。 	
	○要援護者の参加はなかった。	○対策を考える必要がある。
	○足腰の悪い会員が多いので、防災訓練の参加者は少なかったようだ。(老人クラブ)	○防災役員が毎年変わるので大変だ。今後、委員長を再任してもらうなどして効率よく運営していきたい。
雪沢	○9月2日に防災訓練を行った。	
	○アパートが大半を占めている。参加をしてくれるのはほとんど持家の人達で参加者が少ない。	○どうしたらアパートの人達が参加してくれるか考えていきたい。
	<ul style="list-style-type: none"> ○炊き出し訓練、大場川の河川敷で使用期限の過ぎた消火器を使った訓練を行った。全員が体験できるようにした。 ○可搬ポンプで女性にエンジンをかける練習をしてもらった。 ○橋が落ちたとき避難所まで行けないので、小山のスタンドの跡地まで避難誘導した。 	
南中学校	<ul style="list-style-type: none"> ○できる限り地域行事への参加を呼びかけているが、地区ごとに訓練実施日が異なるので、部活動の調整が難しい。 ○今年は参加証という札を持たせた。参加した生徒は町内の人にサインをもらって学校に報告する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○同じ日に一斉に開催すれば、1日部活動を休みにするなど対応できる。 ○地域の役割を担える中学生を育てていかななくてはならないと思っている。
	<ul style="list-style-type: none"> ○幼稚園、小学校、中学校が隣接している。 ○5月の連休前に、幼・小・中で引き取り訓練を行った。中学校では、平日だったにも関わらず7割強の親が引き取りに来た。 ○年1回、中学生が幼稚園の避難訓練に参加し、園児たちの手を引いて避難する。中学生の自覚が高まっているように思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○今後、家族を単位として中学校区でこのような会ができればという思いはある。 ○『うみやあ水』について『家族のパスポート』を家族で相談しながら書いてもらったかどうか。『うみやあ水』を全校生徒分欲しいと申請した。家族でパスポートを作ること子供たちの課題にした。

	<p>○小学校区でこういった会を開くと、南中として3回出席する必要が出てくるので困る。</p> <p>○静岡銀行のバックアップで、東小・南小・西小の南中校区で『あいさつ声かけ運動』の指定を受けている。</p> <p>○中学生の父親で災害時に自分達の子供がどこに避難すればよいか知っている人は少ない。</p>	
東小学校	<p>○校舎の耐震化が完了した。</p> <p>○実際に災害にあったら、保護者に連絡を取ることには難しいだろう。</p>	<p>○保護者が引き取りに来るまで学校で子供達を預かるという形をとりたい。保護者が来ても帰れる状況にあるかわからず、寝泊りする必要が出てくるかもしれないので、その用意が必要である。</p> <p>●保護者が子供を引き取りに来るときは、車ではなく歩いて来てほしいと伝えておいてほしい。(市長)</p>
	<p>○年3回訓練を行っている。だいぶ落ち着いてできるようになってきた。まずはグラウンドに避難したい。</p>	<p>●突発で地震が起きたときはどこに集まるか決めておいてほしい。(市長)</p> <p>●東北の山田町の町長さんが『津波で助かった人達は日頃防災訓練に出ている人達だった』と言っていた。訓練に参加することの大切さをみんなに伝えてほしい。(市長)</p>
全体	◇地域行事について	
	<p>○運動会は子供が少ないのが問題である。東小学校区は子供が400人弱しかいない上、子供会に入っていない子もいる。(東小学校区体育振興会)</p>	<p>○選手集めに非常に苦勞する。選手集めが上手いけば、もっときずな作りができるのではないか。(東小学校区体育振興会)</p>
	◇防災訓練について	
	<p>○子供の訓練への参加が少ないように思う。当然その親も参加しない。実際災害に遭ったとき、一番文句をいうのは子供を持つ親世代だろう。(東小 PTA)</p>	<p>○防災訓練を小学校区合同でやったらどうか。(東小 PTA)</p> <p>○お祭りごとのようにして、小中学生が参加しやすいようにしたらどうか。(東小 PTA)</p>
	<p>○小さい子供を連れていっていると参加しにくい。避難所でオムツを替えたりミルクをあげたりできる場所は限られている。(東幼稚園 PTA)</p>	<p>○防災訓練のときから、小さな子供がいる母親に配慮してほしい。(東幼稚園 PTA)</p>
	◇災害への備えについて	
	<p>○『笛』が外まで聞こえるか疑問に思った。肺活量の少ないお年寄りには無理かもしれない。(東小学校区体育振興会)</p>	<p>○もっと聞こえやすい『笛』にするとよいのではないか。(東小学校区体育振興会)</p> <p>○携帯につけるライトストラップなどのグッズがあるので、商店街で買って活用してほしい。(商工振興会)</p> <p>○年に1回家族の写真を撮って携帯に保存しておく、震災で家族を探すときに役に立つ。(商工振興会)</p>

◇担い手の育成について	
○中学生が一番戦力になると思う。中学生は学区内にいる。高校生以上になると遠くに行ってしまう。(大宮町2丁目)	○もっと中学生に協力してもらいたい。(大宮町2丁目)
◇地域の連携について	
	<p>○南中から話があったように、校区で一斉に防災訓練を行うといいと思う。(老人クラブ)</p> <p>●防災力向上にはきずなが必要である。阪神淡路大震災のとき、倒壊した家屋の下敷きになった人を助け出したのは、家族が18%、ご近所の人が60%だった。8割の人が家族とか近所の人に助け出されている。(環境市民部長)</p> <p>●人が集まることがきずな作りにつながる。今後も積極的に校区でまとまっていたきたい。子供会、老人会、自治会の加入者が減り、そういった団体の力が弱ってきている。各団体で力を合わせて、できれば校区で力をつけてもらいたい。引き続き来年もこういった会を続けていこうと思っている。(環境市民部長)</p>